

# 備後教区報

第 165 号

2018(平成30)年9月28日

結ぶ絆から、広がるご縁へ  
-From tying bonds to great encounters-

## CONTENTS

- ◇公聴会
- ◇役員改選
- ◇災害被害報告
- ◇ルポー災害支援を通して
- ◇法 話
- ◇活動情報&インフォメーション



▲倉敷市真備町



▲三原市内



▲高梁市内

## 各教区で「公聴会」がスタート 実践運動、今後の宗門財政について



今年度より新たに改定された「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合基本計画・重点プロジェクトを周知し、具体的事例を集約するとともに、現行の賦課制度について共通認識を図り、今後の宗門財政について意見聴取と情報共有を行なうため、公聴会が8月22日より10月4日まで各教区にて開催される。



去る8月27日(月)、本願寺備後教堂にて平成30年度備後教区公聴会を開催し、教区役職者をはじめとする僧侶・門信徒41名が出席した。当日は宗派より、山下義円総務、藤丸智雄、浄土真宗本願寺派総合研究所副所長、沙々木学海門信徒教化部部长、岡田光恵所務部へ人事担当、賛事の4名に出向いただき、まず山下義円総務よりご挨拶をいただいた後、報告・協議事項へ移った。

報告では、①昨年度公聴会の経過報告について、②宗門総合振興計画第1期終了および第2期始動について、沙々木学海部長より報告がなされた。

説明では、①御同朋の社会をめざす運動(実践運動)について説明がなされた後、教区・組における具体的な取り組みとして、DIC(ダーナ・インターナショナル・センター)のインドやネパールの難民支援について、メラウーキャンプ教育支援の会の難民キャンプへの支援について、また残蠟から新しい蠟燭を作り途上国へ送るといった支援体制の展望等報告をいただいた。

その他②宗門財政について(現行の賦課制度について)、③僧侶育成体系プロジェクトについて説明がなされ、その後の意見聴取では、宗門財政に関する意見、僧侶育成体系プロジェクトに関する「得度習礼」カリキュラムの具体的提案に対する意見がだされた。最後に山下義円総務よりまとめの挨拶をいただき閉会した。

# 役員改選

「御同朋の社会をめざす運動  
(実践運動)」

## 備後教区委員会

### ◆委員長

菅原 順昭

### ◆副委員長

三次組 覺善寺 常光 和信  
御調西組 法泉寺 小島 照行

### ◆常任委員

備中里組 地福寺 高橋 了融  
備中里組 正専寺 田口 竹子

深津組 光圓寺 平山 智正  
芦田組 明浄寺 立神 義昭

三谿組 立泉寺 一條 博堂  
三谿組 照善坊 福岡 真也

比婆組 西教寺 藤井 義英  
三次組 西福寺 常光 香誓

御調東組 福善寺 大田垣聖圓

### ◆委員

備中里組 浄心寺 榎平 敬子  
中組 徳善寺 後谷 唯史

奥組 浄福寺 山下 瑞円  
深津組 崇興寺 櫛田 教人

深津組 誓蓮寺 藤井 春勝  
深津組 正善寺 藤井 慈

鴨川組 福泉坊 季平 芳照  
鴨川北組 圓福寺 三條 義見

沼隈西組 萬福寺 松林 英水  
沼隈西組 万福寺 杉原 静子  
沼隈南組 南光坊 季平 芳道  
芦田組 西教寺 長 專修  
神石組 金藏寺 杉原 秀晃  
比婆組 妙延寺 尾野 義宗

## 仏教婦人会連盟

### ◆評議員

神石組 泉正寺 入江 悦子

### ◆委員長

備中里組 浄心寺 榎平 敬子

### ◆副委員長

芦田組 正満寺 金光 明子  
比婆組 妙延寺 藤田 信江

御調西組 浄念寺 遠藤 万里  
世羅組 西教寺 福田 国子

### ◆會計

沼隈南組 寶光寺 山路 京子

◆監査  
鴨川北組 照専寺 山手 恵子

御調東組 大通寺 藤原のり子

### ◆書記

深津組 正福寺 有本 和江

### ◆委員

奥組 浄福寺 赤木奈緒子  
沼隈西組 常泉寺 橘高満智子

三谿組 立泉寺 大倉 静子  
三次組 大願寺 兒玉 道子

## 寺族婦人会連盟

### ◆委員長

深津組 正善寺 藤井 慈

### ◆副委員長

神石組 法泉寺 川上由紀恵  
三谿組 照善坊 福岡 裕子

### ◆會計

沼隈西組 善立寺 龍谷 敬恵

### ◆監査

芦田組 西福寺 山名 妙子  
御調西組 光徳寺 藤田 智子

### ◆書記

鴨川組 靈巖寺 龍華 佳穂

### ◆役員

備中里組 大圓寺 奥村 容子  
中組 光福寺 釋園 瑞栄

奥組 善教寺 高下 瑞恵  
深津組 慶満寺 松井 恵美

鴨川北組 真光寺 古孝理恵子  
沼隈西組 法藏坊 藤原 美保

沼隈南組 光照寺 季平 智子  
比婆組 勝光寺 渡邊 由美

比婆組 西楽寺 定光 利恵  
三次組 東光坊 坂原 礼子

三次組 法泉寺 熊谷由美子  
御調東組 最圓寺 三浦 成美

御調東組 照源寺 久本 誉子  
世羅組 明善寺 長岡 素子

布教団

## ◆団長

備後教区教務所長

## ◆副団長

沼隈南組 善正寺 那須 英信  
沼隈南組 光源寺 北山 祐章

比婆組 西教寺 藤井 義英

## ◆参与

深津組 光榮寺 平山 義隆

## ◆青年代表

深津組 光行寺 苅屋 光影

## ◆委員

備中里組 蓮乗寺 田井 智彦  
奥組 浄福寺 山下 瑞円

深津組 光圓寺 平山 智正  
深津組 光榮寺 平山 義文

鴨川組 正覺寺 竹政 信至  
鴨川北組 圓福寺 三條 義見

沼隈南組 南泉坊 岡部 正顕  
芦田組 善行寺 堤 有年

神石組 法泉寺 川上 順之  
三谿組 善徳寺 長谷川憲章

三次組 源光寺 福岡 玄猷  
三次組 圓勝寺 福岡 晃尊

御調東組 法光寺 季平 博昭  
世羅組 教専寺 福岡 義朝

世羅組 浄楽寺 栗原 一乘

# 「平成30年7月豪雨」災害被害報告

## 災害対応

7月6日から7日未明にかけての集中豪雨(平成30年7月豪雨)は、備後教区内にも甚大な被害をもたらした。災害発生当初は情報に錯そうし、寺院門信徒の被害状況、交通網の把握すら難しい状況であった。この度の災害を受けて、7月13日付で宗派に緊急災害対策本部(石上智康本部長)が設置され、同日付、備後教区教務所に備後教区現地緊急災害対策本部(菅



原順昭本部長)が設置された。以降被災地支援の拠点として被害情報の収集、支援物資の調達等行っている。

また現地緊急災害対策本部の設置にあわせ、備後教区災害ボランティアセンターも設置され、被災された寺院及び門信徒宅を中心としたボランティア活動者の登録派遣を行っている。被害の大きかった倉敷市真備町では、備中里組大圓寺真備分院、備中里組本林寺門徒が代表をとめる古里霊園の2か所を現地拠点とさせていただき、7月16日の派遣開始以降、114名が登録、延べ207名の方に活動いただいている。活動内容として倉敷市真備地区を中心とした被災地にてご自宅の片付け(家屋に流入した土砂の撤去や家財の搬出、搬出した災害ゴミの運搬等)、また現地災害対策本部に寄せられた支援物資の搬送を行っている。

## 各地からボランティア参加

## 災害ボラ

ンティアセンター開設以降、北は北海道、南は鹿児島まで全国各地より、そして海外からもボランティア活動にお越しいただいている。



イスラム教徒であるバングラディシュ、タイから参加の5名の中には、世界各地での災害ボランティア経験をもつ方もおり、この度は震災支援ネットびんごのご縁で当教区のボランティア活動にご参加いただいた。当日は真備地区のご門徒様宅の片付け作業をお手伝いいただき、連日続く猛暑のなか大粒の汗をぬぐいながら、使えなくなった家財の搬出運搬を行っていただいた。作業終了後は当家の方とことばを交わされ、涙を流しながら抱きしめ合う、宗教・国境を越えて心が通じ合う姿はとても印象的であった。



## 扇風機を届ける

備後教区災害ボランティアセンターでは、備中里組と連携し、扇風機を延長コードとセットにして被災された寺院・門信徒宅にお届けしている。暑さ厳しいなかで涼むために、また片付け作業時の床下や壁の乾燥に活用していただいている。8月10日は教務所職員も同行し、古里霊園の下田代表案内のもと、備中里組寺院の門信徒宅7軒に扇風機をお届けした。

## 少年連盟で避難所訪問

備後教区少年連盟(脇本寿真委員長)では、8月3日(金)に真



備地区で被災された方々の避難先となつている総社市の避難所2か所を倉敷市の紹介のもと訪問した。法務多忙の時期、急な呼びかけにもかかわらず、8名の方にお手伝いいただき、かき水280食を配布、また避難所にいるこどもたちにくじ引きゲームを行い、お菓子やシャボン玉をプレゼントした。慣れない避難所生活で心身ともに疲れがたまり、ストレスを抱えていらっしゃる方も多い。一時的ではあつてもほつとして笑顔になつていただけたらと思ひ今回の訪問を実施した。今後も継続した支援を検討していく。

### 寺院被害状況

教区内被害寺院数 18ヶ寺

備中里組	2ヶ寺	床上浸水 アルミ工場爆発事故による本堂等のガラス破損
中組	1ヶ寺	床下浸水
深津組	3ヶ寺	境内地冠水、境内照明器具水没、崖崩落 墓苑の墓石倒壊、土砂流入
鴨川組	2ヶ寺	境内土砂崩れ ※建物への被害なし 裏山土砂崩れ ※畑へ土砂が流入したが、建物への被害なし
沼隈西組	1ヶ寺	墓地法面がけ崩れ ※建物への被害なし
三次組	3ヶ寺	本堂裏山土砂崩れ ※建物への被害なし 書院客殿床下浸水、本堂床下浸水
御調東組	4ヶ寺	本堂後堂に土砂流入・土砂崩れによる駐車場全壊 本堂裏斜面崩落による壁損傷・境内水汲み場陥没
御調西組	1ヶ寺	参道法面崩落による境内への車両侵入困難
世羅組	1ヶ寺	裏山土砂崩れ

### 門信徒被害状況

浸水被害、土砂崩れ等による外力被害多数

この度の災害でお亡くなりになられた門信徒12名、信徒4名

※現在門信徒の被害状況報告を教区内全寺院にご依頼しております。この度の災害による教区内被災状況についての当教区としての集約を行うことを目的としておりますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

# ルポ

7月未明から降り始めた雨が、瀬戸内地方にこの様な未曾有の被害を及ぼすとは、果たして誰が予想し得ただろう。「瀬戸内は、自然災害の無い、温暖な地域である」と、言っていた迷信は脆くも崩れ去った。被害発生から、およそ1ヶ月余りが過ぎた現在、今度は連日記録的な猛暑に見舞われた日本列島。被災地支援は困難を極めている。今回は、ボランティア活動に参加した、仏教青年隊の視点から現状をレポートする。(文責・教区報編集委員)

## 「平成30年7月豪雨」

### ―仏教青年の支援活動を通して―

一口に被災地の支援と言っても、その方法は様々である。しかし、共通事項は、まず現地の状況を把握することだ。その為には、現地へのアクセスルートの確保、必要物資の輸送、目まぐるしく変化する状況の情報交換、或いは被災者の心のケアなどがある。

そんな中、本願寺備後教区でも、先の数々の災害支援活動の経験から、多岐に渡る支援チャンネルが存在する。

「教区災害対策委員会(本部)」「備後教区」(震災支援ネットびんご(高橋了融代表))、「教区青

年僧侶の会・備龍会(河村祐昭会長)」。そして、「教区少年連盟(脇本寿真委員長)」。

災害が発生し、いち早く活動開始をしたのが「災害支援ネットびんご」であった。その後教区内に「備後教区現地緊急災害対策本部」が立ち上がり、教区を拠点として災害支援活動が継続されている。

そんな中、どうしても、寺院を拠点とし、寺院の繋がりのもと活動が主体である、上記の活動母体に比して、一般参加者+寺院のユニットで動く、仏教青年隊は異色の存在かも知れない。

仏教青年隊は、当初三原市本郷町へ向けて出発した。その時点では、まだ倉敷市真備町へのアクセスが確保されず、一方本郷町は氾濫した沼田川の水が引き、ようやく現地入りが可能となった。まずは、飲料水をはじめとする、物資の輸送。しかし、現地受け入れ側も、まだまだ混乱した様子。搬入、仕分け等を手伝う。一段落した午後からは、後発組とも合流し、災害支援ボランティアセンターを通じて、いよいよ災害の大きかった場所へと向かった。そこは、船木地区の民家であったが、到着した一同はあまりの惨状に息を呑む。御同行のお宅のようだが、濁流に流されて家の中は見ると影もない。土壁は剥がれ竹の骨子がむき出しになっている。大きな金仏壇も傾いて、ご本尊も無残な姿に。正直、ここまでの有り様を想像出来なかった我々は、当日、比較的軽装での現地入り。土砂をたっぷり含んだ重い畳や、大型冷蔵庫などの家財道具を運び出し、軽トラに乗せては、集積地へと運ぶ。実働わずか3時間ながら、作業終了時は、皆泥だらけ、汗まみれだった。しかし、この時点は、まだ尾三地



区には上水道の復旧は無く、現地の人々の苦労を思いながら、一同被災地をあとにした。

その内に、倉敷市真備町へのアクセスルートが開かれ、仏教青年隊はメンバーの予定をやり繰りして、西へ東へと奔走する事になる。真備町では、被災エリアの広大さは、他の追隨を許さなかった。そして、TVやネットで見るのと、現地へ実際に足を運ぶのとは、やはり訳が違う。周知の通り、真備町は高梁川支流の小田川堤防決壊による、洪水被害と報じられたが、

実際には津波被害であった。7年前、東北震災時に津波にのまれた町の支援に現地入りした時の光景を見る思いがした。そして、当時も強烈な印象として残っているのが、周りに漂う悪臭。これだけはいかに最新デジタル機器でも伝え切れない部分である。さらには、連日の記録的猛暑により、全国から駆けつけたボランティアの方々が、次々と熱中症で倒れることになる。

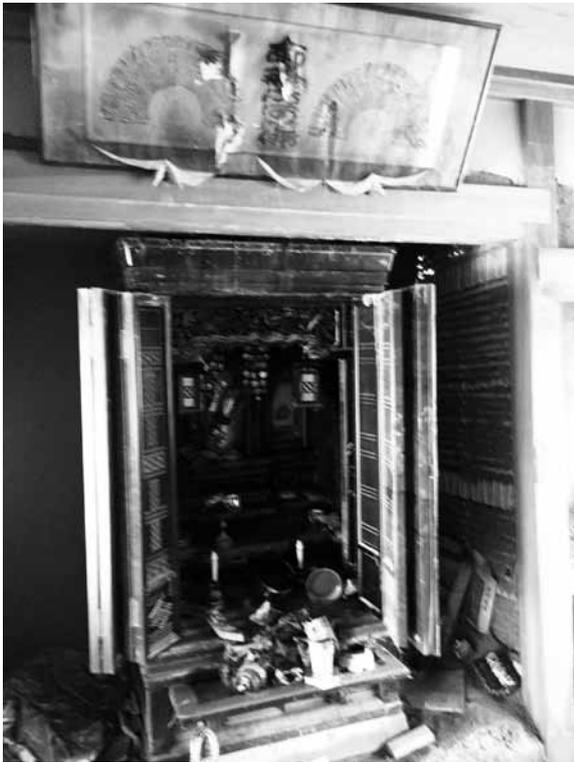
しかし、現地はまだまだ復興には程遠い状況が続いている。改めて、今回の被害の甚大さと、広大さを身に染みて感じながら、己の無力さを痛感するばかりの日々である。

しかしながら、仏青隊のメンバーには、心より感謝したい。それぞれに、忙しい中入れ代わり立ち代わり様々な支援に参加して下さった事：必ず次の支援活動へと引き継いで行きたい。仏青隊の魅力：それは、まさに寺族、在家の壁を越えて存在し、時にはリスクも負いながら、何よりもリアクションの早さにある。教区の立ち位置、見解もあるだろう。だが、被災地支援は何よりも迅速な対応

が求められる。そして、「寺から民間へ」ではなく、「民から寺へ」のあらゆる情報提供、支援ノウハウの吸収の必要性を強く感じる。「民は強く、そして疾い。」そのパイプ役にこそ、今後、仏青隊がなり得るのではないかと思う。

最後に、数年前の仏教青年連盟主催の「真宗青年のつどい in 輛の浦」に御出講頂いた梵大英氏の言葉を。「寺に人が足を運ばないと嘆くならば、何故寺の方から人々の中に飛び込んで行かないのか」真宗教団の今後の課題が浮き彫りになった支援活動は、今後も続けられる。

最後に  
なったが、  
教務所長は  
じめ、教務  
所職員方の  
連日の陰の  
ご助力にも  
心よりの感  
謝を表した  
い。





## 青年布教使による法話 第2回

# おあずかり



深津組光行寺  
かりやこうえい  
荻屋光影

本年、6月に本願寺第23代勝如上人の十七回忌法要が勤修されました。勝如上人がご遷化された年、私は伝道院(当時は任職課程、現在は布教使課程)での研修中でした。伝道院の同期会は、勝如上人の院号「信誓院」より名前をいただいて「信誓会」として集まっております。

伝道院での研修が今の私の原点でもあります。その時に先生方から教えて頂いたことの一つに「おあずかり」という言葉があります。これから任職としてお寺を護っていく心構えとして、今でも思い出させていただく言葉です。お寺の伽藍やみ教え、ご門徒は、所有していくものではなく、阿弥陀様より「おあずかり」しているものであり、親鸞聖人より「おあずかり」しているものであるという事です。学ばせて頂いた時は、何のことなのか全くわからずに聞いておりました。しかし最近、聞かせていただいたことが、懐かしく、響いてきます。

もう数年前になりますが、友人の結婚式で岐阜に行きました。岐阜城の見えるホテルで結婚式の披露宴が行われました。私の友人はお寺の跡継ぎでしたので来賓の方の挨拶に続いて、お寺を代表して総代さんからお祝いの言葉を述べられました。かなりのご高齢で前に出られるのもやつとのことでしたが、この出来事だけはどうしても伝えておきたいとお話くださいました。戦時中、食べるものがなく非常に貧しい生活をしていたころ、住職さんがお参り下さっても何も差し上げることがありません。両親が非常に用い大事に貯めておいた少しのお米をお布施としてお渡ししたそうです。住職さんはそのまま一旦はただかれたのですが、帰られる時に玄関にそつと何も言わずにそのお米を置いて帰っていかれたと



いうのです。その住職さんの姿を見送りながら、その光景が今でも忘れられません、と涙ながらにお話くださいました。その出来事がきっかけとなってお寺のお世話を生涯をかけてしてこられたのです。これからそのような住職さんになってくださいと総代さんの何とも温かいお話を聞かせていただきました。

お寺は長い歴史の中で縁ある方々に支えられ、お世話され、護られてきました。お寺は利害関係で運営されているではありません。信頼関係で護られてきたのです。お世話をしながら、お世話をされながら、阿弥陀さまより「おあずかり」している心を大切に、これからもご報謝として「お世話」をさせていただきたいと思えます。

# News & 活動情報

## 恵信尼公750回忌法要

仏 婦

4月13日、恵信尼公750回忌法要参拝並びに総連盟総会が、本願寺及びANAクラウンプラザホテルで開催された。

総連盟では、昭和41年に制定され、約50年間親しんできた仏教婦人会綱領から新たな綱領へと改定(評議員会にて議決)がなされ、総会開会式にて参加者一同、新綱領を唱和した。※改定についての記事は別途記載

午後より法要が勤修され、引き続き恵信尼公のご功績をしのぶ「恵信尼さまのつどい」が行われた。教区からは団体参拝を行い、多数の参加があった。



▲恵信尼公750回忌法要(本願寺)



▲教区仏教婦人会総会・幹部研修会(まなびの館ローズコム)



▲教区仏教婦人会総会・幹部研修会(まなびの館ローズコム)



▲花岡静人連盟講師

## 仏教婦人会綱領改定

仏 婦

4月19日、教区仏婦連盟では、福山市「まなびの館ローズコム」を会場とし、「総会並びに幹部研修会」を開催した。単位会役職者等277名が集うなか、予定の議案についてすべてが承認・議決された。役員の任期(3年間)満了に伴い、各組から選出された新たな常任委員14名のうち、委員長に榊平敬子委員(備中里組浄心寺)が就任した。

午後の研修では、改定された仏教婦人会綱領についての研修が行われ、花岡静人総連盟講師が改定の経緯、新綱領の内容についての講義を行った。質疑では、『あそかの園』の歌詞等、そのほかにも時代にそぐわなくなっているものについては今後改定の見込みがあるかどうか」という質問があり、講師より現在検討中との回答があった。今回の改定が機縁となり、より時代に相応した連盟となるよう継続して協議がなされていく予定である。

なお、教区連盟では6月より、総連盟評議員に入江悦子委員(神石組泉正寺)が就任した。

### 仏教婦人会綱領

私たちは 親鸞聖人のみ教えに導かれて すべての人びとの幸せを願われる阿彌陀如来のお心をいただき 自他ともに心豊かに生きる ことのできる社会をめざし ともに歩みを進めます

一、お聴聞を大切にいたします

一、「南無阿彌陀仏」の輪をひろげます

一、み仏の願いにかなう生き方をめざします

(2018年2月6日改定)

## 全国仏壯大会引き受け

### 壮年会

4月8日、仏壯連盟(甲田正規理事長)では、平成30年度「総会・研修会」を開催し、単体会役職者等、53名が参加した。総会では平成29年度事業、決算についての報告、平成30年度事業計画、予算について審議が行われた。その他では、平成32年度引き受け開催となる「第23回全国仏教壮年備後大会」実行委員会立ち上げについての報告がなされ、本年度は、数度にわたり大会の企画運営について協議を行っていく予定。



午後の研修会では、大原瑞雲仏壯連盟中央講師が「お念仏申す日暮々阿弥陀様が一緒にくださる浄土への道を朋に歩む」と題して講義を行い、仏教壮年としての研鑽を深めた。

## 重点プロジェクトの改定

### 実践運動

4月17日、実践運動教区委員会総会並びに教区事業推進委員会全体会が備後教堂にて開催され、両委員会委員のうち約40名が集まった。宗門重点プロジェクトの改定に伴い教区及び組重点プロジェクトの策定が急がれるなか、委員任期満了により、新体制にてスタートが切られることとなった。

同日、新たな宗門重点プロジェクト「貧困の克服に向けて」推進のための学習会が開催された。新たな重点プロジェクト策定までの経緯説明、内容についての学びを深めるため、宗派より満井秀城総合研究所副所長、宇野哲哉重点プロジェクト推進室部長、上原大信賛事の出席があった。参加した委員や組長より意見や質問が寄せられ、今後、教区や組でも十分な協議が必要となる。

なお、今期重点プロジェクト推進期間は2年、平成32年度からは教区会議長や組長の任期に合わせ4年の推進期間となる。

## 住職の指導で供物作り

### 寺婦

4月27日、寺族婦人会連盟(那須玲子委員長)では、年に1度、引き受けを組持ち回りで開催する「若婦人研修会」を開催し、総勢56名の寺族婦人が参加した。開催担当は菅田組で、明浄寺様(立神義昭住職)にて行われた。組の協力により託児室が設けられ、子育て中の若婦人の参加しやすい環境が整えられた。



▲落雁を使った供物を作る

午前中は「お茶の話」と題し研修を行い、お茶の立て方について学びを深めた。引き続き、午後からの研修「落雁を使った供物の作り方」の参考のため明浄寺住職自

# 教区月報

2018

4月	4日	仏婦新旧役員会
3日	少年連盟ブロック連絡協議会 (4日 四州)	
8日	教区仏壯総会研修会	
9日	連区仏婦連盟連絡協議会 (10日 四州)	
11日	教堂常例法座	
13日	仏婦総連盟総会	
17日	教区実践運動総会全体会 重点プロジェクト推進のための学習会	
19日	教区仏婦総会研修会	
20日	門推世話人会	
23日	少年連盟役員会 ご縁づくり推進委員会	
24日	布教団副団長会議	
25日	おととめ教室 勤式練習会	
27日	寺婦若婦人研修会 (菅田組明浄寺)	
5月	――	
7日	山下義円宗会議員総務就任 祝賀会	
8日	布教団役員会	



らが作成したDVD映像が放映され、研修に備えた。昼食には「府中焼き」が用意され、地元府中市の文化にも触れることができた。

午後の研修では、明浄寺関係者が長時間をかけ用意された色とりどりの「落雁」と「のり」、貯金箱を土台とし色紙を巻き付け作られた芯を使い、カラフルな模様の供物を手作りで作製した。研修講師は立神住職がとめ、参加者は一対の供物を念入りに作成。「ぜひ自坊でもやってみたい」等の声があがった。

次回、平成30年度担当は世羅組。



◀ 寺族婦人会研修会

6月5日、平成30年度総会・研修会を備後教堂にて開催し、72名の寺族婦人が参加した。総会では、役員改選期にあたり、新委員長には藤井慈さん(深津組正善寺坊守)の就任が決まったほか、事業、会計についての審議が行われた。

午後の研修では、「教えに遇う」ということと題し、牛尾かおり布教使(安芸教区深川組明光寺坊守)が講師を務め、研修を行った。

### 新委員長決まる

寺 婦



◀ 門徒推進員のつどい

6月7日、備後教区門徒推進員のつどいが備後教堂にて行われた。ご講師の、白川晴顯中央仏教学院前学院長(安芸教区豊田東組専教寺住職)より「浄土真宗の教えと目覚め」をテーマに講義を頂いた。講義を受け、参加者全員で車座になり話し合いを行い、参加者より様々な意見が交わされる中、実のあるつどいとなった。

### 参加者全員で話し合い

門 推



◀ 門徒推進員のつどい

9日	ビハーラ備後役員会
10日	保育連盟ブロック連絡協議会 (～11日 山陰)
11日	教堂常例法座
15日	実践運動教区事業検討委員会
16日	ご縁づくり推進委員会
18日	同朋社会部会
21日	門推世話人会
22日	門信徒部会
22日	おつとめ教室 勤式練習会
24日	中四国寺青野球大会 (～25日 山口)
28日	広報伝道部会
31日	寺婦新旧役員会
6月	――
1日	中四国ブロック仏青連盟連絡協議会(～2日 備後)
4日	同朋三者懇話会 (尾道人権センター) 子ども・若者ご縁づくり推進委員会
5日	寺族婦人会連盟総会研修会 第4連区門徒推進員連絡協議会 (～6日 山陰)
7日	門徒推進員のつどい
8日	更生保護事業協会理事会・総会
9日	仏壮理事会
11日	教堂常例法座



### 布教の現場から

#### 布教団

6月20日、備後教区布教団総会・研修会が本願寺備後教堂にて開催された。

ご講師に、京仲組両徳寺前住職舟川宏顕本願寺派布教使をお招きし、「布教現場から」をテーマに講義を頂き、42名の団員参加者の研鑽の場となった。

翌21日は、夏期布教大会を同会場にて開催し、備後教区布教団の山名諒子団員、水戸浩文団員、赤柴宏丞団員、那須英信副団長よりお取次ぎを頂き、朝席・昼席の各三席目を舟川宏顕先生にお取次ぎ頂く中、多くのお同行が聴聞された。



▶布教団総会・研修会



▶夏期布教大会



▶ビハーラ公開講座

### 地域に根差した活動を

#### ビハーラ

6月22日、ビハーラ備後総会・公開講座を本願寺備後教堂にて開催した。

公開講座には、講師に安芸教区佐伯沖組妙覚寺・長坂大然住職お迎えして、「楽しいビハーラ、誰にでも出来るビハーラ」をテーマにお話しを頂いた。

先生は、ご住職を務められているお寺でデイサービスを開設し、地域に根差した活動をされており、質疑の時間に参加者より多数質問が寄せられる有意義な公開講座となった

### 18名の先生に補任状

#### 保育

6月30日(土)本願寺備後教堂本堂にて平成30年度備後教区保育連盟新任教職員補任式研修会を開催した。まことの保育を推進する



▲保育連盟新任教職員補任式研修会

26日	同朋社会部会 中四国まことの保育(27日 山陰)
8月	
11日	教堂常例法座
23日	同朋社会部会
24日	保育連盟実行委員会
27日	公聴会
29日	中四国仏婦大会(四州)
31日	法式法務 広報伝道各専門委員会

教区内加盟園より18名の先生に出席いただき、補任式では補任状を備後教区教務所長より、記念品を小島信章保育連盟委員長より授与させていただいた。補任式後の研修会では、藤間幹夫布教使(深津組光明寺住職)よりご法話をいただいた。

備後教区保育連盟は、次年度「まことの保育 第32回全国保育大会」を引き受け開催する。教区内加盟園数が12園と全国から見ても小規模教区ではあるが、全国からお越しいただく参加者に喜んでいただけるよう、実行委員会を中心に進めている。

今後の予定

- |     |                                |     |                               |
|-----|--------------------------------|-----|-------------------------------|
| 10月 |                                | 24日 | 臨時教区会                         |
| 1日  | 第4連区青年布教使研修会(山陰)<br>～2日迄       | 26日 | 同朋三者懇話会合同学習会                  |
| 2日  | 第20回真宗講座                       | 27日 | 第4連区門徒推進員実践運動研<br>修会(山陰)～28日迄 |
| 3日  | ビハーラ備後実践学習(新山荘)                | 29日 | 環境・人権問題現地学習会(福<br>井)～30日迄     |
| 4日  | 門信徒部会<br>子ども・若者ご縁づくり推進委員会      | 31日 | 全国教誨師大会(広島管区教誨<br>師研修会)～11/1迄 |
| 6日  | 中・四国ブロック真宗青年のつどい<br>(備後担当)～7日迄 | 11月 |                               |
| 11日 | 教堂常例法座<br>第4連区ビハーラ集会(山陰)～12日迄  | 5日  | 門徒総代会研修会(高梁総合文化会館)            |
| 16日 | 少年連盟委員会                        | 6日  | 門徒総代会研修会(三次CCプラザ)             |
| 17日 | 平和のつどい(神辺文化会館)                 | 8日  | 同朋三者懇話会(広島別院)                 |
| 18日 | おつとめ教室・勤式練習会                   | 11日 | 教堂常例法座                        |
| 19日 | 門推世話人会、寺院振興対策委員会<br>組長会        | 12日 | おつとめ教室・勤式練習会                  |
| 23日 | 仏婦会員研修会                        | 13日 | ビハーラ備後実践学習(寿園 相扶園)            |
|     |                                | 29日 | 備後教堂帰敬式                       |
|     |                                | 30日 | 備後教堂報恩講法要                     |

教区行事  
～皆様の参加をお待ちしております～

# Information

## 第23回備後教区平和のつどい

日時 10月17日(水) 13時～16時  
会場 福山市神辺文化会館 大ホール



臨時駐車場に伝道看板設置  
 昨年度事業として教堂臨時駐車場に  
 伝道看板を設置しました。看板には毎  
 月開催の教堂常例法座のご案内を掲載  
 し、中央部は張替え可能な伝道掲示板  
 を設置しております。今後、実践運動  
 教区事業推進委員会広報伝道部会によ  
 り定期的な法語の張替え等行い伝道教  
 化に活用していきます。

### 得度許可

おめでとう  
ございます

〔敬称略〕

世羅組 善仁寺

原 夏美(釋慶心)

(平成30年3月15日付)

備中里組 正専寺

秋山 圭次(釋圭峰)

(平成30年7月15日付)

### 教師授与

おめでとう  
ございます

〔敬称略〕

備中里組 高運寺

塩田 徹成(釋徹成)

(平成30年3月29日付)

### 敬申

お悔やみ申し  
上げます

〔敬称略〕

芦田組 西教寺 坊 守

長 裕美 (4月1日寂)

御調西組 正明寺 前坊守

沼隈 綏子(4月22日寂)

中 組 辻之坊 坊 守

杉原 昌子(5月9日寂)

備中里組 蓮乗寺 前住職

田井 崇子(7月9日寂)

御調東組 福善寺 前坊守

大田垣千代子(7月18日寂)

沼隈西組 正圓寺 衆徒

喜多村 保(8月9日寂)

深津組 誓蓮寺 前々坊守

武 壽枝(8月18日寂)

三谿組 善徳寺 前坊守

長谷川彌生(8月26日寂)

比婆組 西林坊 前坊守

森元 静美(9月4日寂)

### 香典返礼

ありがとうございます  
ございます

深津組 誓蓮寺 様

より香典返礼を頂きました。

本願寺備後教室 (毎月11日)

## 常例法座案内

出講者 (敬称略)

10月 沼隈南組 善正寺

那須 英信

「はからいからおまかせへ」

11月 世羅組 正満寺

島津 恵航

「お浄土へ参るんじやげな」

12月 沼隈南組

天地 秀顕

「念仏を聞く」



この度の「平成30年7月豪雨」は多くの人が「まさか」という思いをもったのではないだろうか。いや、近年、毎年のように発生している自然災害を報道で見て知っていても、我が身に降りかかると「まさか」と思ってしまう▲私自身、今回の豪雨で「帰宅困難者」になるうとは思わなかった。多くの道路が通行止めとなり、スマートフォンで道路状況を検索しても

情報も乏しく、夜も遅くなってきたので、ある中学校の避難所を訪ねた。住所、氏名、電話番号を名簿に書き込むと、水と乾パンと圧縮された毛布を渡された。広い体育館の中には10家族ぐらゐが避難されていた▲館内に響く話し声、足音：蒸し暑くて眠れない。でもこの体育館は避難者が少なかった。のでやがて眠りにつくことが出来た。報道で見る非難所には多くの家族が避難されていた。家に帰るめどがつかずに何日も非難所で過ごさなければならぬ。それは想像を絶する過酷な状況である▲災害の多い国であることが分かっているのに、災害後の避難所に対する整備がおそまつであることに改めて気づかされた。戦闘機一機分のお金でどれだけ多くの人が助かる事であろうかと、体育館の屋根に打ちつける雨の音を聞きながら考えさせられた。Kk・k)

「教区報」の編集にあたり、皆様のご意見やご感想、情報の提供をお待ちしています。教区報専門委員会まで、ご一報ください。  
TEL (084) 924-5759  
TEL (084) 931-9323  
fax (084) 931-9323

メールアドレス  
**h2012@bingo.gr.jp**  
ホームページアドレス  
**http://bingo.gr.jp/**

# 「平成30年7月豪雨」



▲高梁市内



▲アルミ工場爆発による被害



真備町



## 教区内、教区外、 海外からのボランティア活動



▲「備龍会」活動より



▲「震災支援ネットびんご」活動より



▲「少年連盟」活動より



▲「震災支援ネットびんご」活動より